

### 日エマシナリー 景観配慮で着脱式

【千葉】日エマシナリー(千葉県野田市、上田芳弘社長、04・7122・0451)は、同社の従来商品と比べて15%軽量化したシステム防水板を1日に発売する。高い防水性を維持しつつ、軽量化などにより持ち運びしやすくした。価格は個別見積もりだが、同社従来商品よりも30%安い。初年度に1億円、将来は年間2億〜3億円の売り上げを目指す。



システム防水板「タウングード Sスリム」の漏水を20cm以下に抑える着脱式の構造を採用した。固定式にもできる。パネルの大きさは止水高さ20cm。持ち運びも容易なシステム防水板

### 労働力不足が過去最多

【東大阪】東大阪商工会議所がまとめた、トップシエア製品や独自の高度技術を持つ大阪府東大阪市内企業を対象とした経営動向調査によると、「労働力確保と人材育成」が課題と回答した企業が1998年の調査開始以来最多の57.5%となった。競争力が高い製品や技術を持つ企業でも、深刻な人手不足問題を抱えていることが浮き彫りになった。

「東大阪」東大阪商工会議所がまとめた、トップシエア製品や独自の高度技術を持つ大阪府東大阪市内企業を対象とした経営動向調査によると、「労働力確保と人材育成」が課題と回答した企業が1998年の調査開始以来最多の57.5%となった。競争力が高い製品や技術を持つ企業でも、深刻な人手不足問題を抱えていることが浮き彫りになった。

【拡大する】が前回調査比16.3%減少の57.5%と過半を占めた。「新規分野を積極的

【那覇】三和交通(沖縄県南風原町、又吉スミ子社長、098・889・3071)は、自社で運用するタクシー外国客米社システムでカード決済対応

米スクエアのシステムは専用アプリをダウンロードした携帯端末に、カードリーダーを接続することでカード決済に対応できる。

### 不撓不屈

ポンプで海外に

富士テクノ工業(大阪府枚方市)は限られた人数で着々と売り上げを回復し、解雇を伴う構造改革を始めて4年目には定量ポンプも軌道に乗り出した。同社の屋台骨となった「無脈動定量ポンプ」の売り上げが好調になり出した頃には、ポンプを主力に海外にも進出した。社長の生信剛は「内なるグローバル化」から始めようと、バブル

### 富士テクノ工業

期に優秀な中国人設計技師などの外国人留学生採用を増やした。今では従業員の約3分の1は外国人。海外営業の主力だ。無脈動定量ポンプの強みは液体の圧力や粘度に変動があっても、吐出量が回転数にほぼ比例する再現性の高さにある。宇宙航空研究開発機構(JAXA)がエンジン燃焼実験、米マサチューセッツ工科大学が多品種少量の薬剤の反応を実験するマイクロプロセスなどに採用している。現在は売り上げの約6割を無脈動定量ポンプが占める。

成長にハードル こうした取引先網を支えるのは工場の技術力。本社と中国の工場を合わせ約70人を抱える。マシニングセンター(MC)をはじめ、20台以上の加工機が並ぶ。寸法に忠実に、温度管理や工具の摩耗具合に合わせた微妙調整を欠かさない。熟練

### 従業員の生活安定を優先

国内2拠点に 国内の裾野を広げる戦略に変わりはない。9月状況を打破しようには自社の営業所を横浜

「この項おわり。大阪電機(三重県玉城町)社長の高祖雅規さん。め意欲を見せる。(津

### 販路拡大 提携も視野

成長にハードル



従業員とともに会社を成長させる 4、5年行とも「単体で波に乗るの

生信は会社として「一枚岩」となるため、「従業員に安定した職場で働いてもらいたい」との思いが強い。仕事に没頭した父は、家族のもとに帰らないことも多々あった。しかし、経営が行き詰まった時、従業員と共に苦渋を味わった経験に思いを寄せ「生活を尊重したい」。目指すのは、従業員が余暇を楽しみ、家を買い、子育てをするという「当たり前の生活を送れる会社」だ。

「難加工材料や新素材の精密加工にもチャレンジし続けていきたい」と意気込むのは、錠前部品、自動車部品製造が主力の高洋電機(三重県玉城町)社長の高祖雅規さん。



高祖さん

### ティールーム

一層の難加工を 独自の加工ノウハウでタンクステン、モリブデンなどの難加工材料を手がけ顧客から高い評価を得ている。「新たな課題にも向き合う」と並々ならぬ意欲を見せる。(津

### 中小企業優秀新技術新製品賞

【表彰】一般部門(中小企業) 表彰状、盾、優等賞(10万円) 優秀賞(100万円) 特別賞(100万円) 表彰状、盾、副賞(10万円) 表彰状、盾、副賞(10万円) 表彰状、盾、副賞(10万円) 表彰状、盾、副賞(10万円)

### 情報フラッシュ

◆120周年記念大会 日本機械学会 3日(6日)に埼玉大学(さいたま市桜区)で「2017年度年次大会」を開催。参加無料の特別講演は5日15時15分から「サッカーのちから」をテーマに浦和レッズダイヤモンズ社長長尾敬三氏が話す。パネル討論は同日13時から「自動運転に備える」をテーマに綿貫啓一埼玉大教授らが参加する。同学会は創立120周年にあたり1200件以上の講演、約2000人の参加を予定する。問い合わせは事務局(048・858・3433)へ。